資料番号4684



地下に 湖 ができるって本当なの

がずいが流れる

地上に雨が降ると、降った雨水の一部は蒸発し、一部は地下にしみこみ、残りは地面を流れて川になったり、川の水に流れこんだりします。

地下にしみこんだ雨水を、地下水といいます。地下水は、土や植物の根に湿り気をあたえますが、水を通しやすい地層の中を、ずっとしみこんでいって、ねん土や岩石などの、水を通しにくい地層の上にたまります。

ねん土や岩石の層が、かたむいている所では、そのかたむきにそって、地下水は流れます。地下水が流れている所では、地下水のはたらきによって、いろいろと地形が変わっていきます。

地下水のはたらきによって、いろいろな地形に変わっていく所は、おもに、石灰岩でできた地域に多く見られます。

地下水が、石灰岩の中を流れていくときに、地下水は、石灰岩をけずって、とかしていきます。長い年月の間に、石灰岩が深くけずられてしょう 乳洞 ができ、その中に地下水がたまり、湖 ができるのです。これを、地底湖といいます。

岩手県の中東部、岩泉町 にある 龍泉洞 の、しょう 乳洞 の中は、きれいな地下水が川となって流れていて、深い地底湖ができています。(監修・国司 真)



無断複製:転載:翻訳を禁ず Gakken X1100256